

CASPER ステントを用いた頸動脈狭窄症のステント治療のために受診中あるいは受診経験のある  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科では、上記の病気で獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科と鎌ヶ谷総合病院脳血管内治療科を受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用し、臨床研究を実施しております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

**本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。**

【研究課題名】

頸動脈狭窄症に対する CASPER ステントを用いた頸動脈ステント留置術の初期治療成績

【研究の背景と目的】

頸動脈狭窄症に対するステント留置術に用いるステントはいくつか種類があります。従来用いられていたステントでは不安定なプラークがステントの中に突出することがありました。2020年に細い素線と太い素線による2層の mesh から構成された CASPER ステントが発売され、脳梗塞などの合併症の低減が期待されています。しかしながら、頸動脈ステント留置術における CASPER ステントの治療成績に関する論文は少なく、十分な知見は得られていません。

今回の研究では、2施設における CASPER ステントを使用した頸動脈狭窄症に対するステント留置術を実施した方のカルテを使用して、治療の有効性と安全性を評価することを目的としております。

【対象となる方】

2020年10月から2023年9月の間に CASPER ステントを用いて頸動脈ステント留置術を行なっている方です。

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。  
性別、年齢、フォローアップ期間、画像（MRI、MRA、3DCTA、脳血管撮影 DSA 画像、頸動脈エコー画像）

【研究期間と参加予定人数】

この研究は2022年9月の臨床研究倫理審査委員会承認日から2024年9月30日まで実施され、全50名（獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科、鎌ヶ谷総合病院脳血管内治療科症例を合わせて）の患者さんが対象となっています。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は2022年9月に開催される日本脳神経外科学会学術総会で中間発表予定です。また研究終了後に研究結果が学術誌へ投稿される予定ですがその際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究代表者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 助教 河村洋介

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 滝川知司（准教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 担当者：河村洋介（助教）

電話番号：048-965-8682（医局直通） 受付時間 9時～14時

【研究協力機関】

鎌ヶ谷総合病院 脳血管内治療科部長 担当者：成合康彦

連絡先：千葉県鎌ヶ谷市初富 929-6

電話番号：047-498-8111（病院代表）

以上